

第51回 医療研究全国集会in和歌山

6/29^土

会場

和歌山県民文化 会館・大ホール

13:00~17:00

記念講演 13:40~

第5波までの全員入院を実現した『和歌山モデル』

野尻 孝子

東京医療保健大学特任教授



和歌山県立医科大学医学部卒業、1991年小児科臨床医を経て和歌山県立御坊保健所に勤務、93年より同保健所長、2013年和歌山県福祉保健部健康局長、18年和歌山県福祉保健部技監(健康局長事務取扱)。退任後、23年より東京医療保健大学学事顧問特任教授他、宝塚医療大学特別客員教授、紀南病院医療顧問。現在、全国保健所長会名誉会、04年保健文化賞受賞。著書に『和歌山方式』を生んだ新型コロナとの連戦に思う(ぎょうせい)など。

6/30^日

分科会

9:30~16:00

会場

和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ
和歌山県JAビル

第1分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

自分の地域を守る生活インフラとしての地域医療を考えよう

政府は、コロナ禍や震災等における医療供給体制の問題点について検証もせず、地域医療計画は着々と具体化されています。高齢者の救急搬送抑制や公立病院経営強化プラン、医療資源の地域格差が広がるなかでのACP導入など人権制限に繋りかねない医療改革のもと、日々の業務や運動の実践から得た課題や問題を交流し、住み慣れた街で安心して暮らすための医療について語り合います。

第2分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

保健予防活動を地域住民とともに

～「まちづくり」「フレイル予防」「ヘルスプロモーション」～

健康寿命を延伸させるためにヘルスプロモーションの重要性が高まっています。しかし、医療・介護の現場では“スタッフがいらない”“お金がない”という課題が山積しているのが現実ではないでしょうか?助言者の本田宏先生と一緒に保健予防活動に関わる中で、現場の悩みや苦勞を一緒に考える分科会にします。

第3分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

人権をまもる「より良い看護」について

「より良い看護」を提供し患者さんの人権を守るためには、看護を提供する側の私たちの人権も守られる必要があります。コロナ禍を通じて疲弊して離職が相次ぎ、新卒採用も困難な中、深刻な人手不足が各地で生じています。そのような状況の中、事例紹介も含めた職場の取り組み、労働環境改善のための取り組みのレポート等を募集します。どうしたら「より良い看護」を提供出来るか深めましょう。

第4分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

切れ目ない当事者主体の 精神保健医療福祉の改善を目指して

ヘルギーは日本と同じ精神科病院の殆どが民間経営だが、国の政策で精神科病院の患者の生活も治療も人も補償し地域へと上手くダウンサイジングを図った。近年、精神科医療問題をマスコミが大きく取り上げ、遅れた日本の精神科医療に対しても厳しい目が向けられるようになった。この流れを大きな改革の流れに

するのはこれからの私達の運動にかかっている。改革の夜明け前を夜明けにする為に色んな立場の方の多くの参加を呼びかける。

第5分科会 和歌山県JAビル

リハビリテーションの現場で求められるもの

リハビリテーションは従来の医療・介護・福祉の領域だけでなく、地域包括ケアシステムの中でも重要な役割を担っています。私たちが患者、利用者一人一人の人権の回復や生活をより豊かにするために日々頑張っていること、また社会情勢、社会保障制度等の改定に伴って変化する職場環境や労働条件について全国の仲間と共有、討論し、明日からの実践に繋げていきましょう。

第6分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

患者のための臨床検査

臨床検査の仕事で困ったことや不安なことはありませんか?そんな悩みを全国の仲間と語り合います。問題解決への道が開かれる可能性があります。この分科会ではレポート報告と課題別討論(労働条件、人材育成、夜勤体制、採血業務、業務拡大、タスクシフト関連等)を予定しております。皆さんの参加とレポート発表をお待ちしています。

第7分科会 和歌山県JAビル

病院・介護・福祉施設における給食の現状と改善をめざして

給食分科会は、医療・介護・福祉の現場で働く「食」と「健康」に係わる全てのスタッフが知識と経験を共有する分科会です。

何処にでもある困難だらけの職場からの工夫・実践のレポート報告を中心に分科会を運営したいと思えます。同じ困難を理解し分かち合える、有意義な学習・交流の場となる事を期待しています。

第8分科会 和歌山県勤労福祉会館・プラザホープ

「労働者」のいのちと健康を守る活動を考える

雇用の多様化や人手不足などを背景に、職場環境や労働条件の悪化は深刻化しており、労働者のいのちと健康を脅かす要因を取り除く取り組みは一層大切です。こうした取り組みの「風土」をつくるためには、労働組合が積極的に労働安全衛生について学習し、啓発していくことが必要です。この分科会では、職

記念講演・基調フォーラム、分科会のご案内

参加費

2日間参加…8,000円 1日のみ参加…4,000円
※日本医労連の組合員以外の一般参加者…500円 ※学生…無料

基調フォーラム 14:55~

日本の社会保障はどのような状態に置かれているか ～和歌山の実態に学び、社会保障費抑制政策を転換させよう!～

●コーディネーター
横山 壽一
(佛教大学客員教授)

●パネリスト
長谷 英史
(和歌山生協病院ソーシャルワーカー)

▶ 国民皆保険制度の危機、高すぎる保険料・窓口負担と受診控えの実態

佐藤 洋一
(和歌山生協病院小児科医)

▶ 私のライフワーク「子どもの医療費無料化拡充の運動から神経発達症児の教育充実を目指す運動へ」

芝野 友樹
(和歌山合同法律事務所弁護士)

▶ いのちのとりで裁判の判決の現状と人権の担い手であるケア労働者への期待

場の労安活動のレポート報告を軸に、労安活動の意義や実践について討論を行います。

第9分科会 和歌山県JAビル

施設介護

コロナ禍を通じて「生活の場」である施設において、人権と個別性を尊重するケアができないジレンマを経験しました。私たちは、会って、話して、聴くことを大事にする専門職です。私たちが集まり日々のケアを振り返ることで「明日からも頑張ろう」と思えたら、利用者の笑顔も増えるでしょう。特養、老健などの入所施設のみならず、高齢者住宅や小規模多機能、短期入所介護等で働く方なら職種不問、学生も歓迎です。

第10分科会 和歌山県JAビル

在宅介護

新型コロナパンデミックを通して、在宅介護が利用者の暮らしを支える専門職であること実証してきました。最前線での日々の在宅介護の実践をレポートにまとめ、意見交流をしながら介護の専門性を追究しましょう。

第11分科会 和歌山県JAビル

放射線医療従事者の賃金労働条件の実態、 タスクシフトや業務分担を考える

放射線従事者の労働実態を把握し改善に向けての討論を行います。またタスクシフトや職種間の連携についても話し合います。

第12分科会 和歌山県JAビル

薬と社会

2024年度診療・調剤報酬改定、薬剤師の偏在・病院薬剤師の不足、医薬品供給問題、コロナ禍における対応、薬局におけるデジタル化、HPVワクチン定期接種の積極的推奨再開、薬害問題、かかりつけ薬剤師、ポリファーマシー、残薬問題、医薬・薬業連携、医薬品評価など、様々な薬剤師活動や現場の問題について、実態や経験を持ち寄り交流しましょう。積極的なレポート報告と参加をお待ちしております。

第13分科会 和歌山県JAビル

わたしたちが大切にしたい保育 ～院内保育所のあり方～

わたしたちがより良い保育を実現していくために、保育現場での働き方を改めて考え、私たちが育てたいと願う子どもたちの姿、私たちが大切にしたい保育とは何

全体会のおたのしみ

オープニング 13:00~

「和歌山MOVE」による演舞



マグロ解体ショーほか
和歌山を味わう食の交流会

参加費 7,000円 18:30~

(先着200名 ダイワロイネットホテル)

動く分科会(バス1台・先着40名)

和歌山の「戦跡めぐり」と「津波防災」、食文化を学ぶ

9:00 和歌山城・駐車場(観光土産センター横) 集合・出発
戦跡巡り～黒潮市場～「稲村の火」資料館～

「角長」しょうゆ蔵めぐり

16:00 和歌山駅 帰着・解散

動く分科会の参加者は、費用9,000円(参加費・昼食代込み)

分科会レポート募集中

●内容
分科会の問題提起に沿って日頃の実践をまとめてください。

●提出先
第51回 医療研究全国集会組織委員会
レポートは医療研WEBサイトの専用フォームから提出してください。

●締切
5月27日(月)まで

医療研究集会の魅力は、集会2日目の分科会討論です。全国の経験を持ち寄り、テーマ別に「レポート」に基づく討論と交流を行います。



参加お申し込み方法

参加・宿泊のお申し込みは、医療研WEBサイトにて受け付けています。代表者がまとめてお申し込みいただくことも可能です。

※日本医労連や日本医療総合研究所宛でのメールやFAXでのお申し込みは、受け付けておりません。

医療研に関する情報は随時、
公式WEBサイトで発信しています。

<https://iryoken.jp/>

